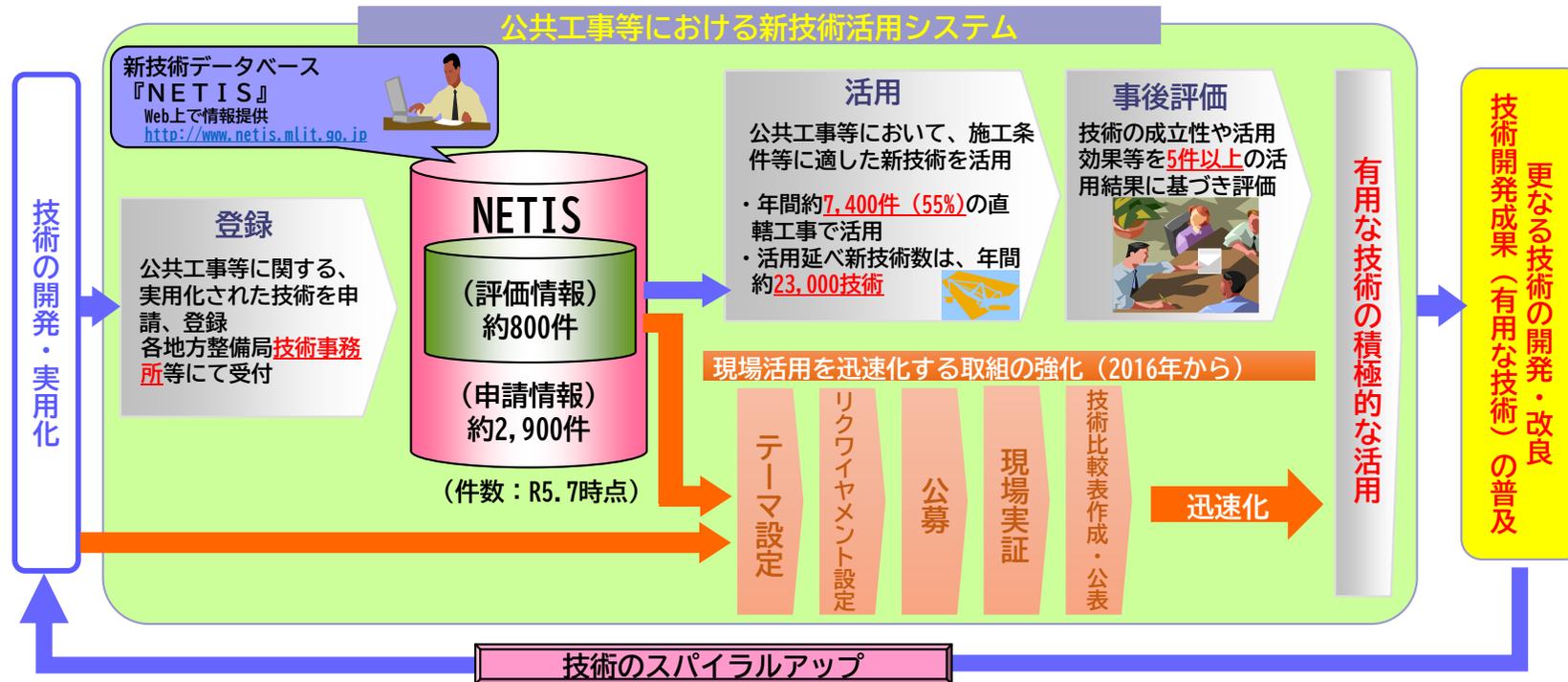


# 新技術活用システムの概要

民間事業者等により開発された有用な新技術を公共工事等において積極的に活用・評価し、技術開発を促進していくためのシステム（2001年度より運用）。



## 新技術を活用する5つの方式

### 発注者指定型

◆発注者がこの新技術を使うようにと指定する場合  
⇒現場ニーズ等により必要となる新技術を対象に、**発注者の指定**により活用を行うタイプ  
⇒ **(選択肢提示型)** テーマに基づく複数の新技術を選択肢として提示し、契約後に施工者が選択肢から技術を選定するタイプ

### 施工者選定型

◆施工者から契約前もしくは契約後に提案があった場合  
⇒ **施工者からの提案**に基づき、新技術の活用を行うタイプ

### 試行申請型

◆開発者の申請により申請情報の妥当性を現場で確認する場合  
⇒事後評価未実施技術を対象に、**申請者（技術開発者）からの申請**により、試行現場を照会し活用を行うタイプ

### フィールド提供型

◆ニーズにあった新技術を募集し、使ってみる場合  
⇒ **ニーズにあった新技術を開発者から募集**し、審査・選考して活用を行うタイプ

### テーマ設定（技術公募）

◆技術募集テーマを明確に設定のうえ、新技術を募集し、使ってみる場合  
⇒ **技術開発者からテーマにあった新技術を募集**し、選考して活用を行うタイプ  
活用後は、評価結果に基づき「技術比較資料」を公表する

## NETISへの掲載期間

### NETIS（申請情報）：「-A」技術

当初にNETISに登録した日の翌年度の4月1日から起算して**10年**を経過した日まで

### NETIS（評価情報）：「-VE」、 「-VR」技術

当初にNETISに登録した日の翌年度の4月1日から起算して**10年**を経過した日まで

### NETIS（評価情報）：「推奨」、 「準推奨」技術

当初にNETISに登録した日の翌年度の4月1日から起算して**15年**を経過した日まで

（実施要領[3.2.5 NETIS 掲載期間等]）